

令和3年度概算要求における主な無人機関連経費

陸上自衛隊

○「UAV(中域用)の取得」：約16億円

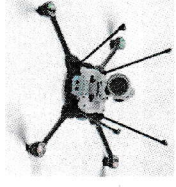
概要：師団及び旅団における情報収集を行うための無人機を取得。

○「UAV(狭域用)の取得」：約1億円

概要：普通科連隊等における情報収集を行うための無人機を取得。



UAV(中域用)
スキャンイーグル



UAV(狭域用)
スカイレンジャー

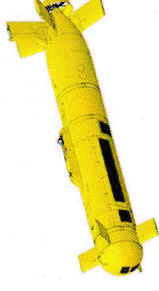
海上自衛隊

○「機雷捜索用水中無人機(OZZ-5)の整備」：約24億円

概要：護衛艦の装備品である無人機雷排除システムの水中航走式機雷探知機について整備。

○「水中防衛用小型UUVに関する研究(試験用治具の取得等)」：約2億円

概要：水中防衛用小型UUVの試験に必要な試験用治具を取得し仮装備する。



OZZ-5(イメージ)

航空自衛隊

○「滑走路被害復旧器材の取得(被害調査用ドローン)」：約2億円

概要：空自の滑走路被害復旧能力を強化するため、被害等の情報を収集する器材を取得。



被害調査用ドローン

防衛装備庁

○「遠隔操作型支援機技術の研究」：約16億円

概要：有人機からの遠隔操作により、複数で飛行する無人機を実現するための基礎技術に関する研究。

○「水中監視用無人機構成要素の性能確認試験」：約1億円

概要：UUVに用いる環境情報等を取得する小型センサ及びセンサ情報から自動で行動判断する技術に関する研究。